



スポーツ観戦についての調査レポート

2009/10/13

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

スポーツ観戦についての調査レポート

2009/10/13

調査概要

調査タイトル:	スポーツ観戦についてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2009/10/2 12:07 ~ 2009/10/3 9:25
回答モニタ数:	600

ネットマイルではスポーツ観戦について、2009年10月2日から2009年10月3日にかけてアンケート調査を実施した。対象となった回答者は、アンケートに協力した1,103名中、「この一年間でスポーツ観戦(現地での生観戦、家でテレビ観戦など)をしましたか?」という質問に対し、「した」と回答し最後までアンケートに回答した10代以上の男女600名とした。

回答者の状況は、「男性」「女性」各300名。年代は「10代」「20代」「30代」「40代」「50代」「60代以上」各100名。婚姻状況は「未婚」が47.2%、「既婚」が52.8%。居住地域は「北海道・東北地区」が11.3%、「関東地区」が39.3%、「北陸・甲信越地区」が4.7%、「東海地区」が11.5%、「近畿地区」が17.7%、「中国地区」が5.5%、「四国地区」が2.7%、「九州・沖縄地区」が7.3%であった。

回答の結果から、最も多いスポーツの観戦スタイルは「テレビやラジオでの自宅観戦」であり、「よくしている」と回答した人が6割近くみられた一方、「現地での生観戦」を「よくしている」と回答した人は1割に満たないことがわかった。

また、「現地での生観戦」についてかけられる費用については、6割程度の人が“5千円未満”という回答であった。

さらに、8割以上の人が“今後、現地でスポーツの生観戦をしたい”と思っており、その一番の理由として「臨場感を味わえる」が挙げられた。反対に“生観戦したいと思わない”理由としては“お金と移動時間がかかるから”が多くみられた。

この他、“今後、現地で生観戦してみたい”スポーツでは「野球」「サッカー」といった定番どころの回答率が高く、女性においては「フィギュアスケート」も高めであった。

以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

「テレビやラジオでの自宅観戦」を「よくしている」と回答した人が6割近く

「スポーツの観戦スタイルについてあてはまるものをお答えください。」という質問をおこない、6種類の観戦スタイル（「現地での生観戦」「スポーツバー・スポーツカフェでの観戦」「テレビやラジオでの自宅観戦」「パブリックビューイングでの観戦」「街頭テレビ」「車内・ワンセグ（携帯電話）」）ごとの頻度を聞いた。

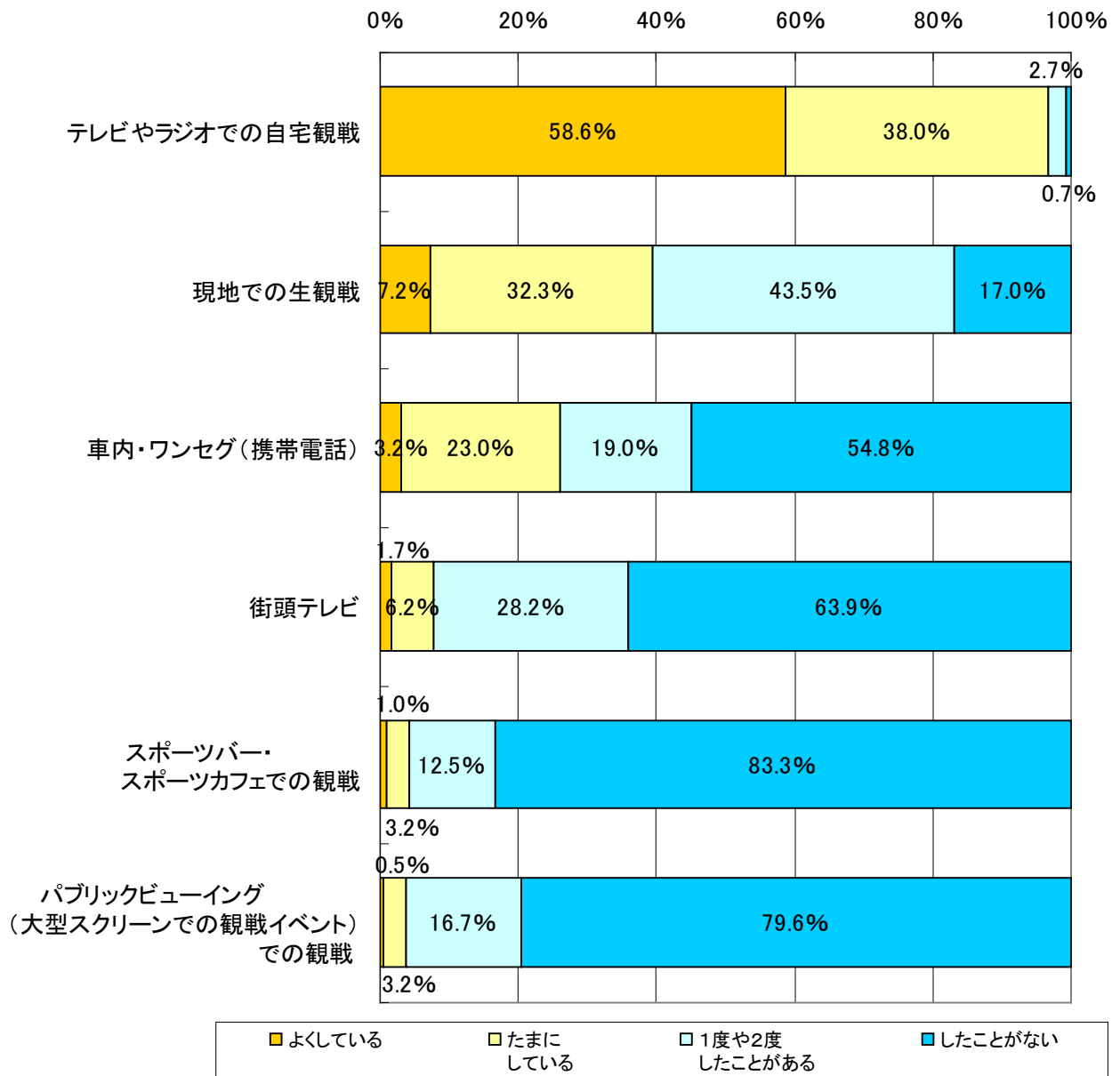
全体で「よくしている」の回答率のみで比較すると、「テレビやラジオでの自宅観戦」が58.6%と最も高く、次いで「現地での生観戦」が7.2%と続いた。

男女別にみると、全ての観戦スタイルにおいて「よくしている」の回答率は女性よりも男性の方が高かった。

また、年代別に特徴的な項目をみると、「現地での生観戦」について「よくしている」と「たまにしている」をあわせた回答率は、「30代」「40代」で5割を超える結果であった。

「テレビやラジオでの自宅観戦」を「よくしている」と回答した人が6割近く

Q1 スポーツの観戦スタイルについてあてはまるものをお答えください。
合計N=600



「現地での生観戦」にかけられる費用について6割程度が“5千円未満”と回答

「1回のスポーツ観戦にいくらまでお金をかけることができますか？(チケット代・交通費・飲食代など全てを含めた1人分の金額)」という質問をおこなった。

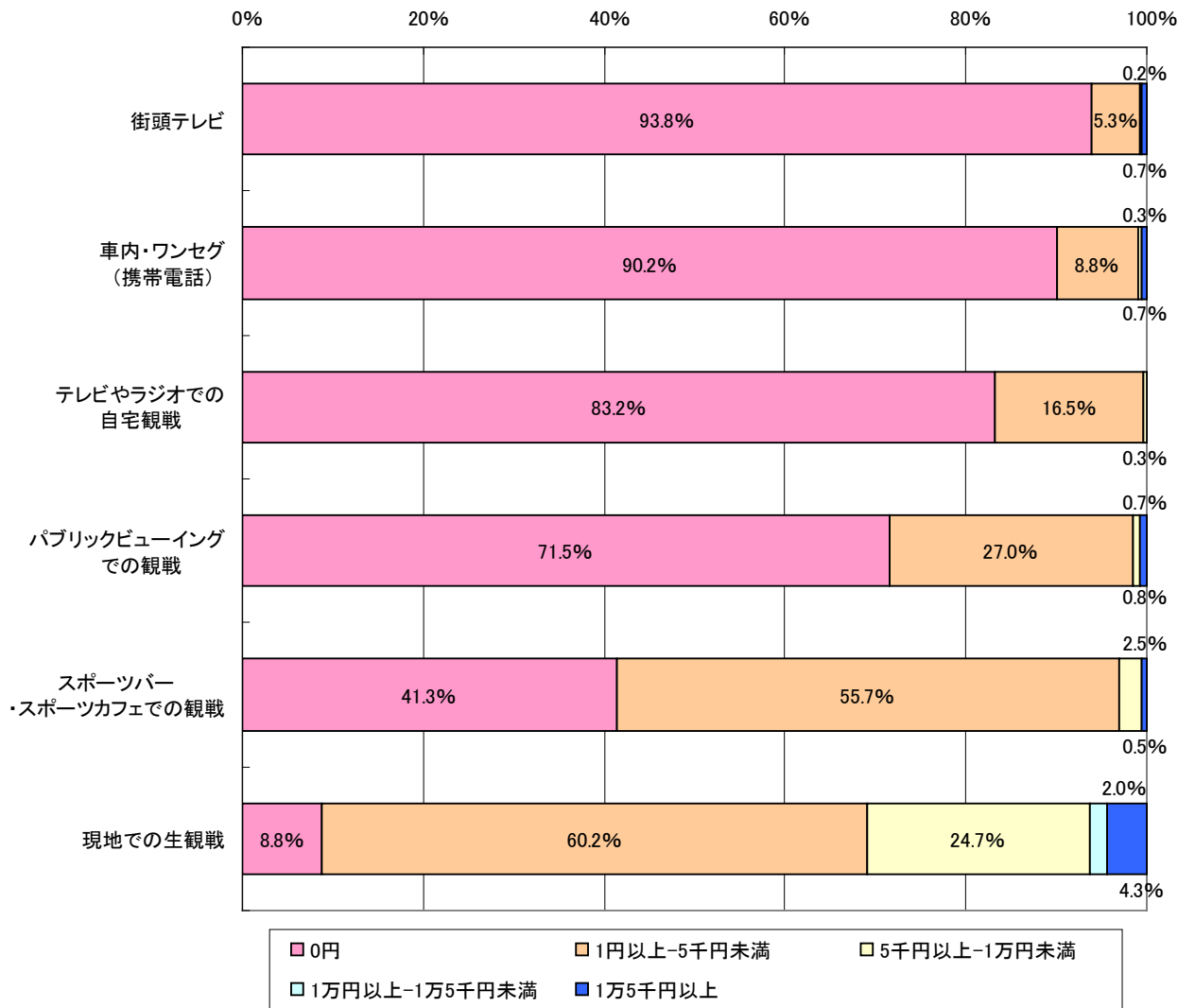
全体では、基本的に観戦そのものにチケット代・交通費・飲食代などの料金がかからない「街頭テレビ」「車内・ワンセグ(携帯電話)」の9割以上、また「テレビやラジオでの自宅観戦」では8割以上、「パブリックビューイングでの観戦」では7割以上が「0円」という回答であった。

さらに、「現地での生観戦」について詳細をみると、全体では、「0円」の回答率が8.8%、「1円以上5千円未満」が60.2%、「5千円以上1万円未満」が24.7%、「1万円以上1万5千円未満」が2.0%、「1万5千円以上」が4.3%という結果であった。

男女間に大きな差はみられなかったが、年代別に特徴的な項目をみると、「0円」は「10代」で2割以上、「20代」でも1割を超えており、「10代」「20代」では比較的低い価格帯を志向する傾向が垣間見られた。

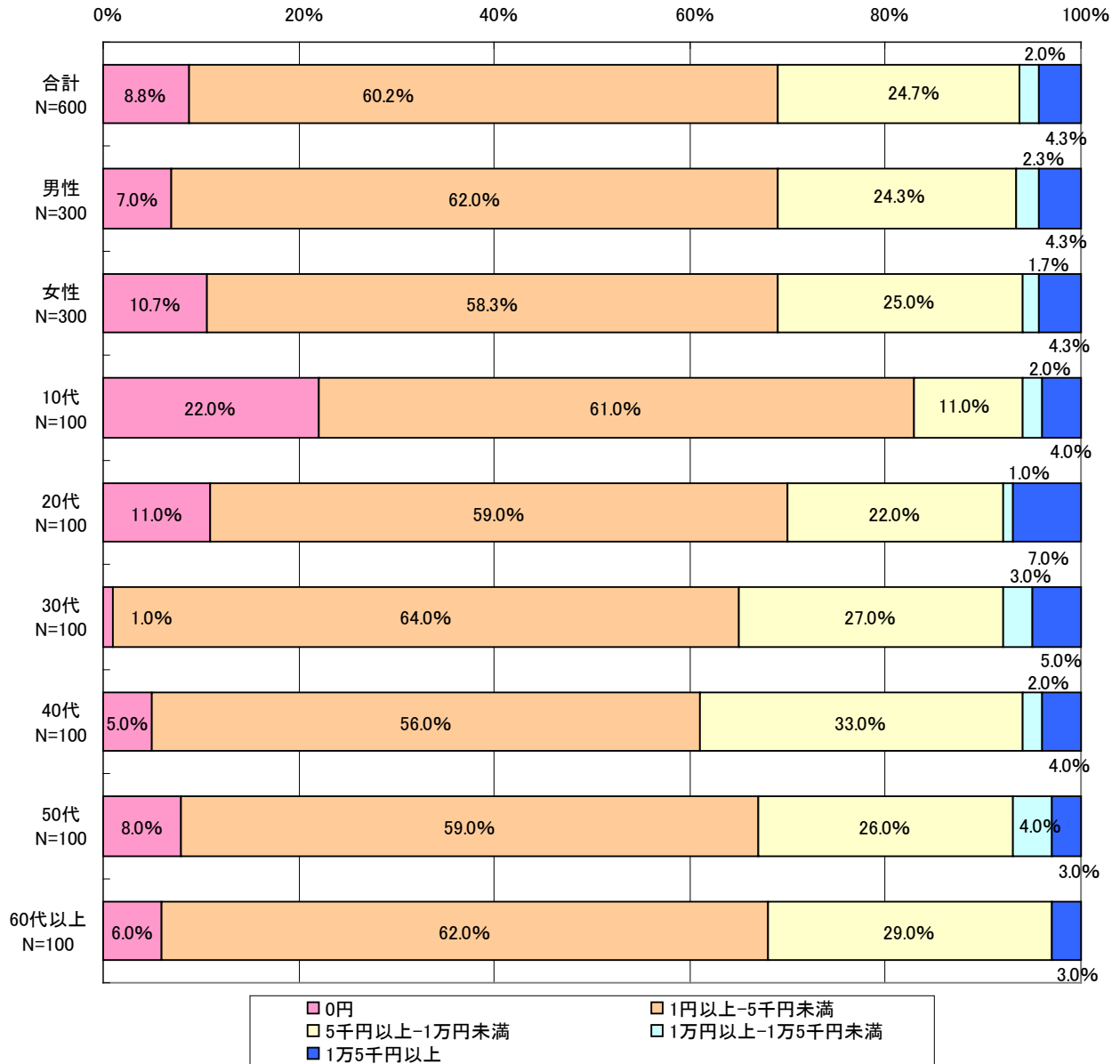
「現地での生観戦」にかけられる費用について6割程度が“5千円未満”と回答

Q3 1回のスポーツ観戦にいくらまでお金をかけることができますか？
 (チケット代・交通費・飲食代など全てを含めた1人分の金額) 合計N=600



「現地での生観戦」にかけられる費用について6割程度が“5千円未満”と回答

Q3 1回のスポーツ観戦にいくらまでお金をかけることができますか？
 (チケット代・交通費・飲食代など全てを含めた1人分の金額)
 【現地での生観戦】



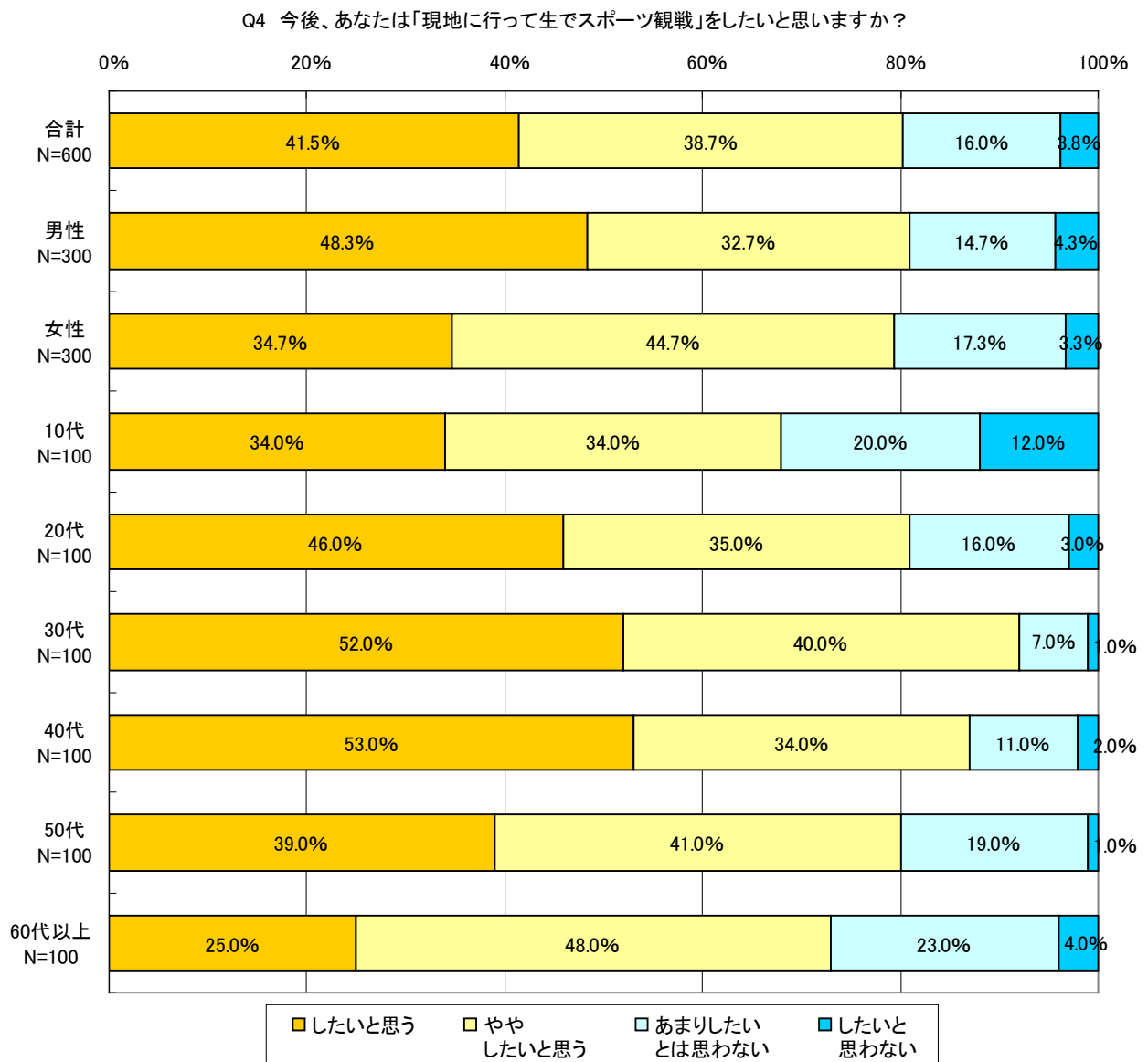
“今後、現地でスポーツの生観戦をしたい”と思っている人が8割以上

「今後、あなたは「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたいと思いますか？」という質問をおこなった。

全体では、「したいと思う」41.5%と「ややしたいと思う」38.7%をあわせた“今後、現地で生観戦したい”の回答率が8割に達し、一方で「あまりしたいとは思わない」は16.0%、「したいと思わない」は3.8%という結果であった。

男女別にしてみると、「したいと思う」の回答率は男性が48.3%、女性が34.7%と女性に比べ男性の方が高かった。

また、年代別にしてみると、「したいと思う」の回答率は年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られたが、「30代」「40代」の5割超えをピークに「50代」「60代以上」では下がる傾向がうかがえた。



“生観戦したいと思わない”理由は“お金と移動時間がかかるから”

「今後、あなたは「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたいと思いませんか？」という質問に「あまりしたいと思わない」「したいと思わない」と回答した119名に対し、「あなたが「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたくない理由は何ですか？」という質問を複数回答でおこなった。

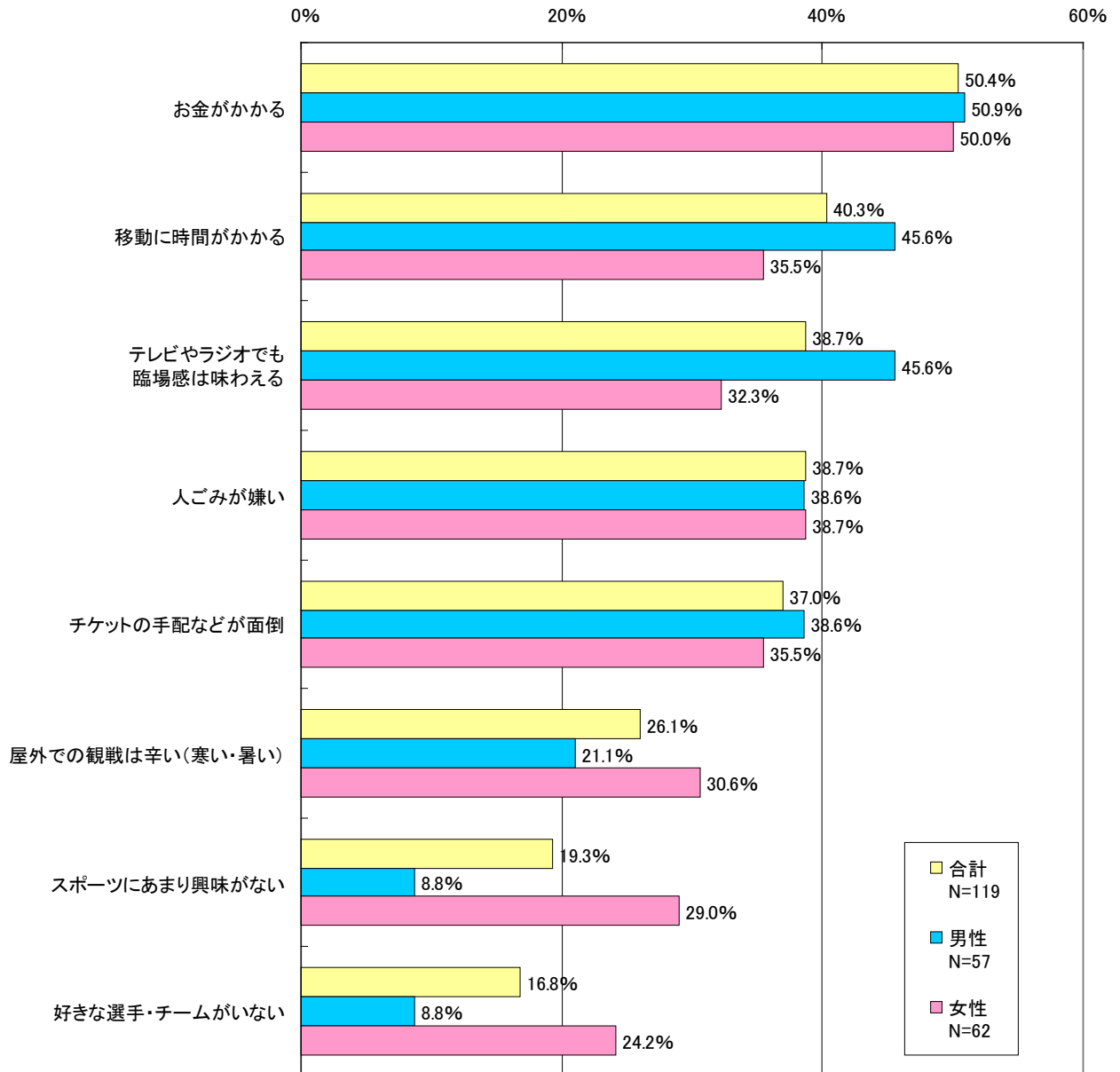
全体では、1位が「お金がかかる」50.4%、2位が「移動に時間がかかる」40.3%、3位が「テレビやラジオでも臨場感は味わえる」と「人ごみが嫌い」でともに38.7%、5位が「チケットの手配などが面倒」37.0%という結果であった。

男女別にみると、男女ともに1位は「お金がかかる」で5割程であったが、男性2位は「移動に時間がかかる」と「テレビやラジオでも臨場感は味わえる」、一方女性2位は「人ごみが嫌い」であった。

さらに男女間における特徴的な項目をみると、「スポーツにあまり興味がない」や「好きな選手・チームがない」といった項目において、女性の回答率が男性よりも高かった。また、年代別にみると、「10代」「20代」「40代」「60代以上」の1位は「お金がかかる」であったが、「30代」では「スポーツにあまり興味がない」、「50代」では「移動に時間がかかる」が1位に挙げられた。

“生観戦したいと思わない”理由は“お金と移動時間がかかるから”

Q5 あなたが「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたくない理由は何ですか？
(上位8位)

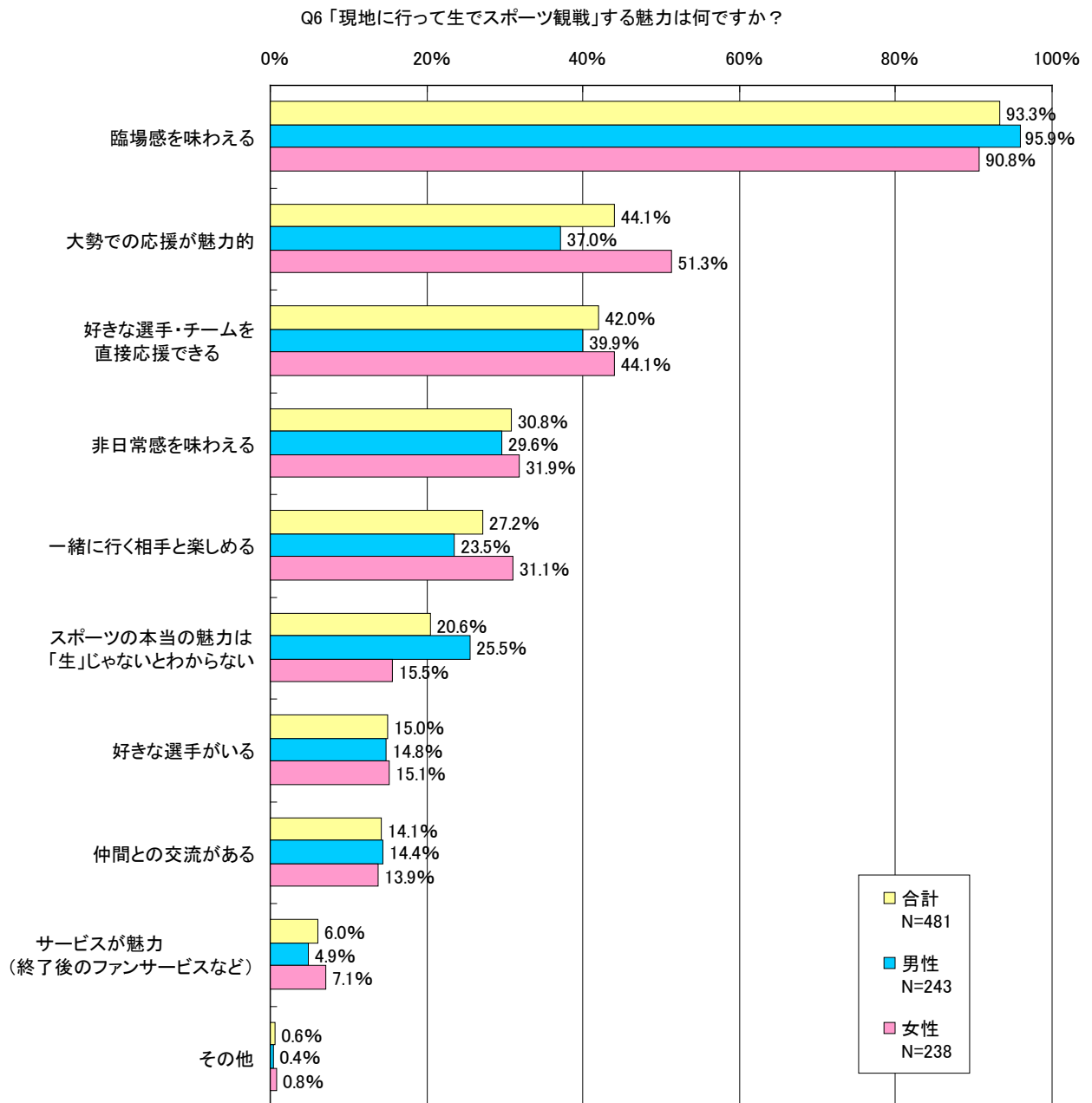


“現地でスポーツの生観戦をしたい”理由1位は「臨場感を味わえる」で9割以上

「今後、あなたは「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたいと思いますか？」という質問に「したいと思う」「ややしたいと思う」と回答した481名に対し、「現地に行って生でスポーツ観戦」する魅力は何ですか？」という質問を複数回答でおこなった。

全体では、1位が「臨場感を味わえる」93.3%、2位が「大勢での応援が魅力的」44.1%、3位が「好きな選手・チームを直接応援できる」42.0%、4位が「非日常感を味わえる」30.8%、5位が「一緒に行く相手と楽しめる」27.2%であった。1位の「臨場感を味わえる」が群を抜いて高く、特徴的な結果であった。

男女別に特徴的な項目をみると、「大勢での応援が魅力的」では男性よりも女性、一方「スポーツの本当の魅力は「生」じゃないとわからない」では女性よりも男性の回答率が高かった。



**“現地で生観戦してみたい”スポーツは、「野球」「サッカー」。
女性においては「フィギュアスケート」の意向も高め。**

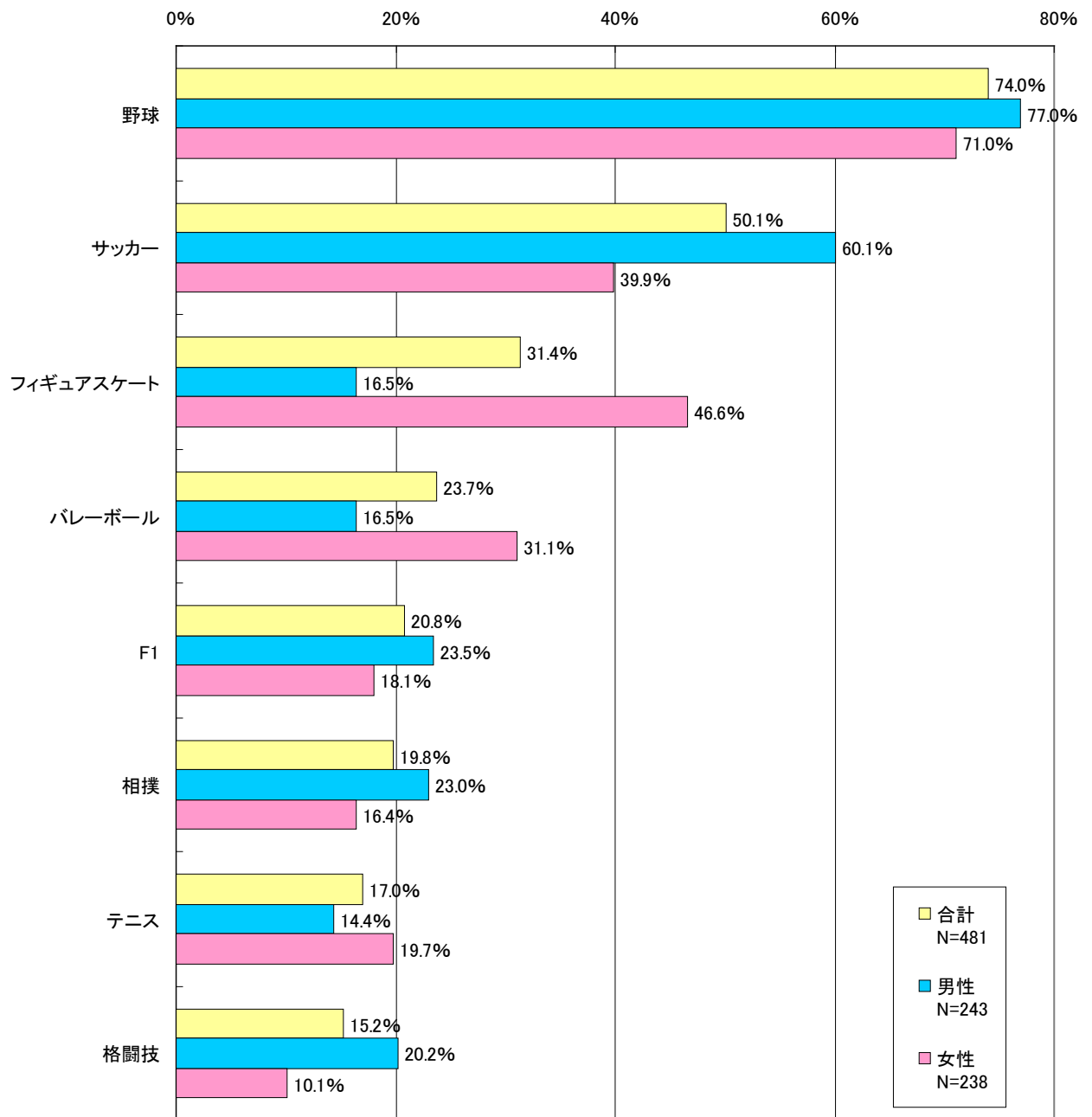
続けて、「今後、あなたは「現地に行って生でスポーツ観戦」をしたいと思いますか？」という質問に「したいと思う」「ややしたいと思う」と回答した481名に対し、「今後、現地で生観戦してみたいと思うスポーツを全てお答えください。」という質問を複数回答でおこなった。全体では、1位が「野球」74.0%、2位が「サッカー」50.1%、3位が「フィギュアスケート」31.4%、4位が「バレーボール」23.7%、5位が「F1」20.8%という結果であった。

男女別にみると、男性1位は「野球」77.0%、2位は「サッカー」60.1%、3位は「F1」23.5%であった。一方女性1位は「野球」71.0%、2位は「フィギュアスケート」46.6%、3位は「サッカー」39.9%であった。男女ともに「野球」「サッカー」といった定番スポーツの人気ぶりがうかがえる結果であった。

また、年代別にみても、ほとんどの年代において1位は「野球」、2位は「サッカー」という結果であった。さらに「10代」では「バレーボール」、「20代」「50代」では「フィギュアスケート」、「40代」では「F1」、「60代以上」では「フィギュアスケート」や「相撲」といった項目の回答率が他の年代に比べ高かった。

**“現地で生観戦してみたい”スポーツは、「野球」「サッカー」。
女性においては「フィギュアスケート」の意向も高め。**

Q7 今後、現地で生観戦してみたいと思うスポーツを全てお答えください。
(上位8位)



**“現地で生観戦してみたい”スポーツは、「野球」「サッカー」。
女性においては「フィギュアスケート」の意向も高め。**

Q7 今後、現地で生観戦してみたいと思うスポーツを全てお答えください。
(上位8位)

